

# 産経新聞

## 写真家―美を演出し具現化する

アートディレクター兼フォトグラファー 水谷孝次さん



### モデル撮影ルポ

「きょうは天気がよくて、とても気持ちがいいね」。女性モデルの青海さん(三〇)に声をかけるアートディレクター兼フォトグラファーの水谷孝次さんの言葉に、仰々しさはまったくなかった。

モデルの写真撮影。実際にどんな雰囲気で行われるのかと現場をのぞいてみた

### あくまで自然体の魅力引きだす

ら、張り詰めたような緊張感はなく、それはごく自然な会話から始まった。

東京タワーを望むビルの屋上で撮影する水谷孝次さん 〓東京都港区六本木

に被写体を意識、シャッター音が響きわたる。あからさまにモデルにポーズを要求したり、迫り顔で迫ったりすることはなかった。

息ついた青海さんは、「緊張して表情が冷たくなってしまふときもあるんですけど、とてもリラックスできました」とにっこり。

この日、午前中は東京都港区六本木にある高層ビルの屋上が舞台。

水谷さんの表情は変わらないが、そのまなざしは常に、張り詰めたような緊張感はなく、それはごく自然な会話から始まった。

水谷さんは後者だが、「メイクをはじめライティングまで凝ってできるのは懐石料理。きょうは築地で仕入れたばかりのすしで勝負しましょう」と屈託ない。

東京タワーを背景にした撮影は数十分で終了。ひと

など国際展で金賞受賞。十一月下旬、ビジネスアライブック「Merriy」を出版予定。今回の撮影は来年一月四―十六日に、東京・ラフォーレミュージアム原宿で開かれる、「ミレニアムスマイル」をテーマにした写真・ポスター展「Merriy」のために行われた。